

## 葛根田川北ノ又沢左俣

メンバー 菊地（リーダー）糸井 神戸

柳下 塚原

日程 8月11日ー12日

10日の19時に秦野を出て、メンバーを拾いながら厚木インターに乗り車を走らせた。お盆初日とあって異常な混みようである。ドライバーを交代しながら盛岡に向かった。結局盛岡インターを11時頃降りて、滝の上温泉を出発したのが12時。ここから30分位林道歩きとなるが、地熱発電所の施設も幾つもあり、今後の日本の将来を考え期待しながら歩を進めた。

12時50分に入渓。仮眠も無し of 山行となった。川と付くだけあって広い河原になっている。水量はさほどなく、水温も温かい。多分雪渓はないだろう。

ゆったりとした流れの中を歩く。明通沢出合いに13時25分に着く。そこから10分くらいで、綺麗なナメ滝が左岸に懸か

っている。水量比5対1位なので圧巻である。

この辺りからお函と呼ばれる深い淵が随所にあられてくる。若い頃だったら遊び心が出てくる所だ。柳下さんをけしかけたが皆先を急いでいる。今日初めての滝が出てくる。1メートル位の滝。昔の仲間がいる福島登高会では3メートル表記されていたが横に広い立派な滝だ。

この先も函淵が幾度もあらわれる。所々ゴルジュを形成しているところがある。長い所で50M位だろうか。

左岸に6Mのナメ滝がながれている。そこを過ぎると大石沢出合いである。14時40分の到着だ。水量比3対2。明るく広い出合いだ。ここから沼ノ沢出合いまではナメが随所に現れる。ナメと淵の癒し系の沢の本領を発揮する処だ。途中5Mの越しこしながら進んでいく。菊地さんが今夜の夕食に一品を加えようと奮闘しながらの遡

行だ。他のメンバーは邪魔にならないよう  
間隔をあけて遡行している。15時40分  
瀬沼ノ沢出合いに着く。左岸に20Mの滝  
で合流する。ここから10分位で今日のビ  
バーク地の中ノ又沢出合いだ。水量比1対

1. 到着15時50分。

河原の3M程上に20畳程の平らな所  
があり、ここにテントを張り焚火のスペー  
スも確保した。焚火を囲んだ宴会を終えた  
のは23時ごろ。

11日、前日の遅れを取り戻すべく4時  
起床6時出発。20分ほど歩くと左岸に2  
5M4段の滝が合流。そこから5分位で葛  
根田大滝が姿を現す。下段5M、上段20  
M位でそれぞれに釜をもっている。ここは  
左岸を巻く。雪が降る割に踏み跡はしっか  
りしている。途切れることなく人が入っ  
ている証しだ。

大滝を過ぎると、沢は小さく蛇行を繰り返している。途中大木が倒れている所を過

ぎると、40Mの滝が見えてくる。左岸に  
懸かる枝沢である。ここを過ぎると、沢は  
左に曲がっていく。左岸にはビバークポイ  
ントが多い。20分で滝ノ又沢出合いであ  
る。水量比1対1.

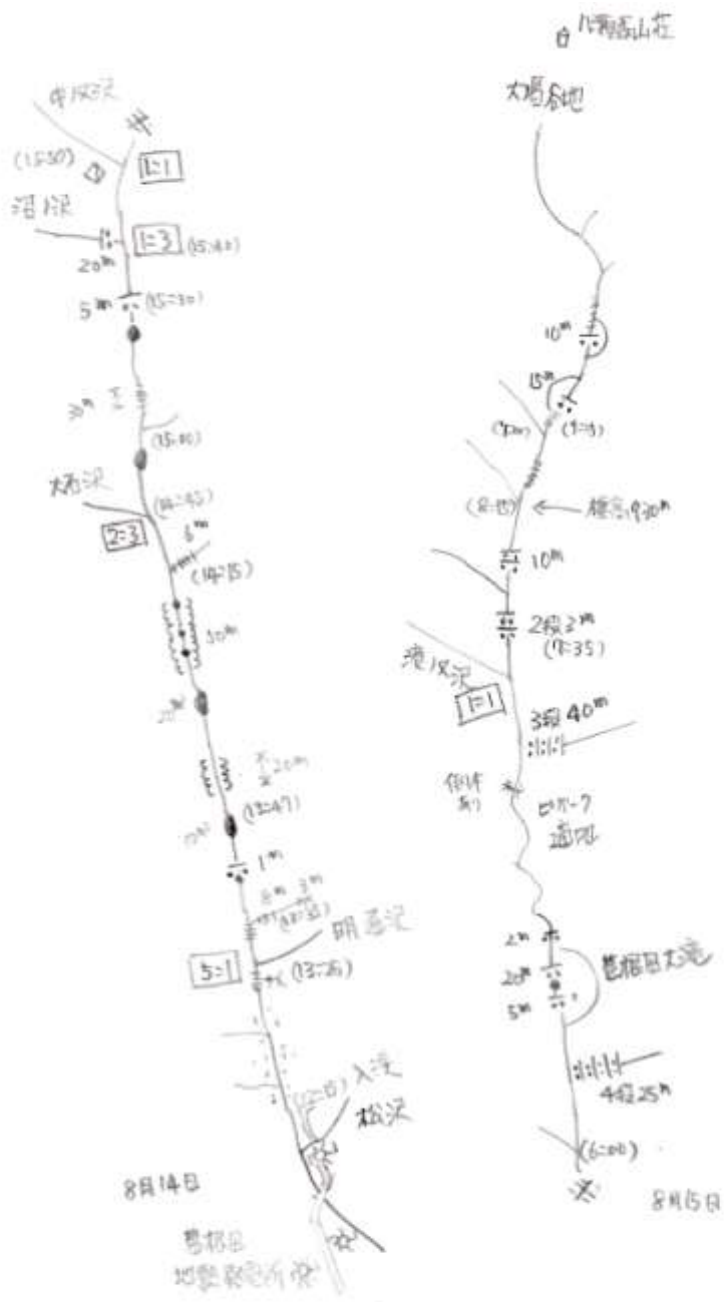
北ノ又沢に入ると2段3Mの滝がある。

滝ノ又の出合いから30分で二俣に着く。  
我々は左俣に向かう。水量比2対3。気持  
右俣が多い。ここまで来ると水量は一気に  
減る。標高930M。

ここから平坦気味の沢床を歩き右沢に入  
り小一時間歩くと15M滝が現れる。右岸  
を小さく巻き沢床に降りる。そこから少し  
の所に10M滝が続く。右壁を登り左岸を  
巻く。ここからは、枝沢を左、左で詰めて  
いく。11時過ぎに大場谷地湿原に出た。  
綺麗なお花畑の中を八瀬森山荘を目指し、  
11時半過ぎに着いた。

記録 塚原

葛根田川



<概念図>

